

令和3年度厚生労働省 母子保健指導者養成研修 2021.10.14

「予期しない妊娠の支援に関する研修」 ～女性健康支援センター事業の取り組み～

三重県委託事業「妊娠SOSみえ」の運営・実践から

特定非営利活動法人 MCサポートセンターミックみえ 代表(助産師) 松岡典子

みくみえ21年間の主な活動

電話による無料子育て相談(年中無休)～1000件/年

栄養相談会

ママ・パパ向け子育て講座
事故防止・歯科・栄養など

親の交流の場の提供

性教育
子どもたちへの思春期教育

妊娠期の支援

マタニティセミナー

「予期せぬ妊娠の相談」

妊娠SOS相談

産後支援:家庭訪問

SNSにおける情報発信 相談・対応

地域連携体制の構築・行政との協働・虐待・子育て関連の提言・会議への参加



子どもたちの健全育成・虐待の未然防止

女性健康支援センター事業

R3予算案: 1.9億円 (R2予算額: 2.2億円)

事業の目的	
①事業者	
②事業内容	
③施設担当者	
④施設場所(実施主体: 都道府県・指定都市・中核市)	
⑤補助率等	
⑥相談実績	
⑦相談内容	

「妊娠SOSみえ」の立ち上げから現在までの経緯

H24年(2012) 5月三重県健康福祉部

子ども・家庭局子育て支援課より事業委託の依頼

その後事業運営のための体制づくりに着手

～関係機関間の連携体制の構築(約5か月間)

H24年11月～ 電話相談開始

代表者会議・運営会議・ケース検討会議の設置

R2年 6月～ SNSによる相談開始

妊娠SOS相談 窓口の役割と特徴(窓口の専門性の意義)

(役割)

予期しない妊娠をした女性や、危機的状況にある妊婦に対し、その背景を理解したうえで女性を受け止め、その状況で相談してくれたことを lädt、その女性に必要な情報提供をするとともに、自己決定を支え、その決定に沿って女性に必要な支援が受けられるように地域の関係機関とつなぎ、ひいては0日目の虐待死の予防と、その後の母親の自尊心の回復や、児の健全育成を担う。

厚生省 第17次子ども虐待死亡事例等検証結果(R3.8発表)に「妊娠SOS」が記載された
0日目の虐待死亡事例の対策として、予期しない妊娠をした精神の課題を抱える妊婦にとって誰にも相談できない状況放置せず、本人の意思決定に関して相談できる機関、適切な支援に誘導できる機関として、妊娠SOSのような相談機関が機能を發揮することが期待される

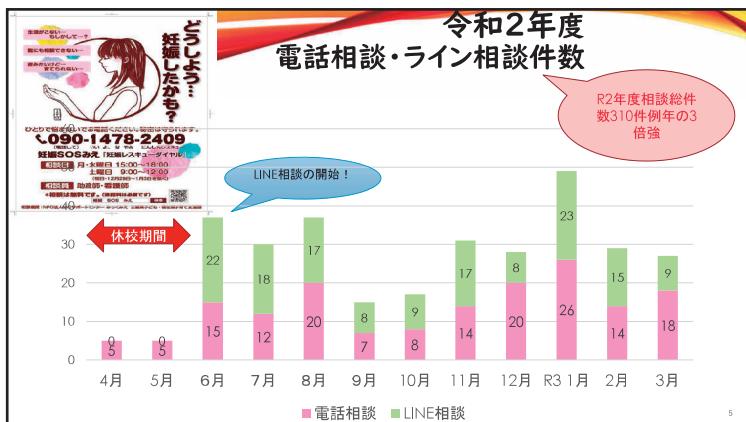
(特徴)

・妊娠SOSみえは、三重県との協働事業であり、地域の医療・福祉・保健・法的機関などの機関との構築されたネットワークにより、相談対応・支援を行っている。官民それぞれの特性を活かした役割分担の中で、必要な支援を行っている。相互の信頼関係が基盤!

・SNS(LINE)相談による相談に至りにくい若者などをターゲットにした相談対応(電話とSNSの両面からの相談と支援)へツールの使い分けの必要性

令和2年度 電話相談・ライン相談件数

R2年度相談件数
数310件例年の3倍強



LINE相談利用者のニーズ 匿名性と相談のハードルの低さ

- 短文・単文でやり取りできるからいい
- いつも使っているツールで相談できる(気軽さ)
- 即相談したいときに使える
- だめだったらブロックすればいい(安心)
- 自分の欲しい情報のみわかればいい
- 友達みたいに気軽に相談したい
- 電話はしたくない(めんどくさいし声を聞かれるのは絶対に嫌!)
- 誰にも知られず相談したい
- 声を出すパワーはない・移動もできないが文字は打てる
- 匿名で自分を知らないで関係性を作りたい 等々



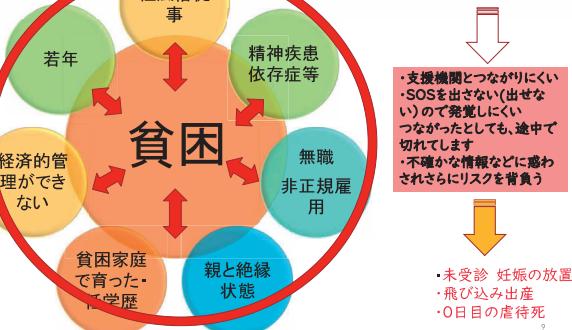
予期しない妊娠と妊娠葛藤の背景

予期しない「妊娠」が葛藤状態「妊娠、どうしよう・困った」に陥る理由
(予期しない妊娠がすべて危機的状況に陥るわけではない)

- 相手がわからない
 - *若年
 - *不倫
 - *お金がない
 - *縁切り出す中絶手術
 - *仕事の中断
 - *学業の中断
 - *性被害
 - *自身のメンタルの課題
 - *離婚調停中
 - *家庭内の不和
 - *社会的孤立
 - *未婚 等々



⇒ポイント!
これらの背景を単独ではなく複数・複雑に抱える



相談から支援へ

- なるべく早い段階で公的機関とつなぎ、サービスが受けられるように支援する。相談者が窓口以外の地域の人・機関とつながるためのサポート
- 初回の相談や受診が支援を受ける第1歩!
<そのために必要なこと!>
- ✓ 対象者のニーズとリスクアセスメントを的確にしていく(多機関連携による支援を視野に)
- ✓ 特定妊婦から産後の継続した支援の流れの確認
(途切れさせない!サポート体制の構築)
- ✓ 多機関との日常的なやり取りの積み上げで機関間の信頼関係の構築
- ✓ 誰もができること:各機関やかかわりがあった時に「妊娠SOS相談」窓口の存在を知らせる



妊娠SOSのケース対応は連携による支援へ 重層的・継続的な対応を多機関で!!

「特定妊婦」として要対応で支援

支援の必要な相談者を必要な支援先につなぎ支援を受けることができるようにする!

見届ける覚悟と機関間のフィードバックの推奨!

妊娠SOS相談事業の課題と今後

- 予期しない妊娠をした女性の支援に必要な相談窓口の相談員のスキルアップ
- 予期しない妊娠をした女性のその後の受け皿の拡充:母子生活支援施設や医療機関(助産施設など)
- 予期しない妊娠をした女性の相談・支援対応の全国ネットワーク化(確実につなぐ支援をあきらめない!)
- 予期しない妊娠の未然防止策の拡充:性教育や避妊薬などについてより危機的状況になる可能性のあるターゲットに対して提供していく
- 関係機関間の連携支援の充実:ネットワーク会議などの実施
- 相談・支援にSNSの活用の推進